令和元年度　3月号　発行責任者　金井弘文　綾瀬あかしあ園　足立区綾瀬7-2-5 Tel 03-5682-7272 2020年3月23日発行

社会福祉法人あいのわ福祉会
Social Welfare Juridical AINOWA Organization

Ayase River Times

みんなで「ほっと、いっしょに、いきいきと」
～安心・信頼を大切に、共に考え・学び、お互いの自己実現を目指します。～

成人を祝う会　　開催

新しい年がスタートして間もない1月10日(金)に、綾瀬あかしあ園の「成人を祝う会」が開催されました。今年度、綾瀬あかしあ園では1名の方が成人を迎えられ、ご家族や法人関係者の他、母校の先生、肢体不自由児者父母の会会長を来賓に迎え、利用者の方々や園の支援員と一緒にお祝いを致しました。
当日のプログラムの内容では、所属しているグループの利用者の方と職員からのメッセージやお花のプレゼント、また、生まれた時から今までの思い出のスライドショーの上映、記念品では、そのスライドショーをDVDにした物や当日ご家族と撮影した写真を入れた「写真立て」をプレゼントしました。スライドショーの上映では、BGMと一緒に懐かしい映像が流れ、ご家族の方と一緒に私たちも振り返りながら、その場にいる誰もが感動した場面となりました。プログラムの最後には、ご本人からのリクエスト曲で「海」をみんなで合唱し、みんなの元気な歌声を響かせ、盛大にお祝いをし、式が終了となりました。
今年度もとっても素敵な「成人を祝う会」となり、令和2年のスタートは心温まる式典からのスタートとなった綾瀬あかしあ園でした。

(記　行事担当　田中知香)

新規職員挨拶

１０月より非常勤職員として入社し、１１月より常勤職員になりました青柳と申します。今まで別の法人で、就労継続支援Ｂ型の事業所に約１年半務めておりました。社会人としての日も浅く、至らない点が多々ありますが焦らずにチームの一員として働けるよう頑張っていきます。趣味はテニスと書道を以前やっておりました。宜しくお願い致します。

実習生受け入れ報告

今年度は下記通り実施致しました。

5月　人事院研修　3名
　　大正大学　　1名
6月　東京福祉専門学校　１名
　　草苑保育専門学校　１名
7月　東京未来大学福祉保育専門学校　１名
　　東京福祉大学　　１名
8月　帝京科学大学　　1名
　　東京福祉専門学校　1名
9月　東京福祉専門学校　1名
　　大正大学　　2名
1月　介護等体験　1名
　2月　目白大学 1名

（記　実習担当　石橋香菜子）

研修等参加報告

1月
2019年度都通研第五回研修会
(相談支援とリンクした個別支援計画の再考)
令和元年度　相談支援初任者研修
2月
令和元年度スーパービジョン研修（社会福祉の専門家としての職員の成長）
東京都社会福祉協議会身体障害者福祉部会(現場における職業倫理とハラスメント予防)

（記　研修担当　塩賀守）

施設月間予定　　（1月～３月）

1月
　7日内科診
　8日理美容
　10日成人を祝う会
　15日クラブ活動

2月
　4日内科診
　5日クラブ活動
　12日理美容
　19日クラブ活動

3月
　3日内科診
　4日クラブ活動
　11日理美容
　18日クラブ活動

（記　広報編集担当　八木橋透）

Dグループ　　活動報告

今年度も様々な活動を行ってきましたが、今年も1月に利用者の方と初詣で西新井大師に行ってきました。1月の中旬頃に数回に分けていきましたが、人出も多く賑やかな雰囲気の中、参拝をしてきました。途中、個々におみくじも引いて1年の運を占ってきました。寒い中に出掛けて来ましたが、利用者の方の多くの笑顔を見る事が出来ました。また今年度は職員が研修で教わってきた『ボッチャ』というスポーツを活動に取り入れて行ってきました。最初はグループにみの活動でしたが、別グループとの試合やクラブ活動でも行う様になり、ボッチャはパラリンピックの正式競技の為、職員同士で『綾瀬から世界へ』という様な話を（冗談ですがちょっとだけ本気で）する様になっています。利用者の方の中にはボッチャを楽しみにされている方もいて、今度はいつボッチャを行うかと職員に声を掛けてくれる方もいます。今後は施設外の方との試合も検討していて、ボッチャを通じて色々な方との関りが持てればと考えています。

（記　Dグループ　　豊田正）

Cグループ　　活動報告

グループでは月に2回程、利用者の方に選んでいただく選択活動を行っています。園芸とリラクゼーション、ハンモックとカラオケなど、異なった2つの活動からその日の体調や気持ちなどを考えてご本人で決定して頂いています。ご自身で選んで頂く事で皆様もより積極的に活動に参加している様子で楽しく園で過ごしされています。

また、グループでは週に2回、一人ひとりの個別の時間を作り、様々な取り組みを行っています。今回は絵を描きたいと希望があった利用者の方の取り組みを紹介します。まずは支援員と一緒に何を描くかを考え、ペットの絵や外出活動の思い出の写真をマジックやサンドアートを使って描いています。真剣な表情で描き、完成すると支援員と出来上がった作品を見て満面の笑顔が見られました。現在はアニメキャラクターをたくさん描いています。出来上がった絵は随時ふぉらんに掲示していますので是非お立ち寄りください。

（記　Cグループ　小松直樹）